

大人の純愛。

フランソワーズ・サガンの香り豊かに。

夏に抱かれて

「冒険者たち」のロベール・アンリコ監督作品

NATHALIE BAYE
CHRISTOPHE MALAVOY
PIERRE ARDITI

A FILM BY
ROBERT ENRICO
FROM THE NOVEL BY
FRANÇOISE SAGAN
DE GUERRE LASSE

製作:アラン・サルド
監督:ロベール・アンリコ
原作:フランソワーズ・サガン
《夏に抱かれて》新潮社刊
脚色:ジャン・オーランシュ
ディティエ・ドゥコワン
ロベール・アンリコ
撮影:フランソワ・カトンヌ
美術:アラン・ヴェシエ
音楽:フィリップ・サルド
衣裳:オルガ・ペルルッティ
編集:バトリシア・マニエ

ナタリー・バイ
クリストフ・マラヴォイ
ピエール・アルディティ
ジュヌヴィエーヴ・ムニク
フィリップ・クレヴノ
ジャン・フィーズ

フランス映画・1987年・カラー
ISARA FILMS
CANAL PLUS PRODUCTIONS
GENERALE D'IMAGES
TF1 FILMS PRODUCTION製作
(株)キネマ旬報社配給
☆FCI提供





SARA FILMS / CANAL PLUS PRODUCTIONS
/ GENERALE D'IMAGES
/ TF1 FILMS PRODUCTION 製作
1987年/フランス映画/カラー
(株)キネマ旬報社配給/FCI提供

解 説

田園の初夏の光の中を、一組の男女が自転車走らせている。愁いをふくんだ笑顔の美しい女の名はアリス。知性的な紳士のたしなみを感じさせる男の名はジェローム。夏の輝きを全身に受けて、そよ風をよぎりながら、しかし、この男と女の心の中を占めているのは、ある一つの決断だった。やがて、二人の前に、魅力的な第三の男シャルルが登場する。揺れうごく愛、友情、そして真心……。

三人の大人たちの純愛ともいえる愛の彷徨を描いた叙情豊かなフランス映画「夏に抱かれて」は、香り豊かな恋愛小説の第一人者、フランソワーズ・サガンの原作の映画化。微妙な三人の主人公たちの心の動きをリリカルな美しい映像で捉えるのは、「冒険者たち」「若草の萌えるころ」「ラムの大通り」のヴェテラン、ロベール・アンリコ監督。地方都市の色彩豊かな情景と、時代色濃いパリの街並を背景にした普遍的な愛の物語を、ここでも彷彿とさせてくれる。

二人の男性に愛される魅惑的な大人の女アリスには、フランソワ・トリュフォーに見い出された実力派ナタリー・バイ。彼女を失意から救い愛を捧げる一方で、レジスタンス運動に身を投じるジェロームに「メロ」のビエ

夏に抱かれて

ール・アルディティ。彼の親友で、自然の中で暮らすたくましいシャルルに「悲しみのヴァイオリン」のクリストフ・マラヴォワがそれぞれ扮している。

音楽は「帰らざる夜明け」「夕なぎ」「暗黒街のふたり」「離愁」等、哀愁に満ちた流麗なテーマ曲を数多く手がけているフィリップ・サルド。アンリコとの絶妙なコンビネーションを奏でている。

製作はジャン＝リュック・ゴダールの「カルメン」という名の女やベルトラン・タヴェルニエの「田舎の日曜日」等のアラン・サルド。脚本はアンリコの他にジャン・オーランシュと、ディディエ・ドゥコワン(アンリ・ドコワンの息子でアンリコとは「追想」で組んでいる)が共同執筆している。

撮影は「悲しみのヴァイオリン」のフランソワ・カトンス担当。

物 語

42年の夏。アリス(ナタリー・バイ)は、ジェローム(ビエール・アルディティ)といっしょに、ドロール県に住んでいるジェロームの幼友達シャルル(クリストフ・マラヴォワ)のもとを訪れた。その頃すでにレジスタンス(反ナチ地下抵抗運動)に加わっていたジェロームは、スペインやアメリカに脱出

(スタッフ)
監督:ロベール・アンリコ
原作:フランソワーズ・サガン
(夏に抱かれて)新潮社刊
脚色:ジャン・オーランシュ
ディディエ・ドゥコワン
ロベール・アンリコ
撮影:フランソワ・カトンス
美術:アラン・ヴェジエ
音楽:フィリップ・サルド
録音:ビエール・ガメ/ギュイヨーム・シアマ
衣裳:オルガ・ベルルツィ
編集:パトリシア・ヌニー
製作:アラン・サルド
(キャスト)
ナタリー・バイ
クリストフ・マラヴォワ
ビエール・アルディティ
ジュヌヴィエーヴ・ムニク
フィリップ・クレヴノ
ジャン・ボワッセ
モーリス・シェヴィ
カトリヌ・アルディティ
スヴェリーヌ・ハイア
アンリ・セール
ベルナール・ベルジュ
ヴェロニク・ショーク
ローラン・ワデン

しようとするユダヤ人家族の一時の避難場所としてシャルルの家とその人柄を利用する計画をもっていた。突然のジェロームの訪問にシャルルは歓迎した。そして紹介された美しいアリスを見て、その瞬間から微妙な感情が湧きあがるのを感じた。広い屋敷で気ままな一人暮らしをしていたシャルルは、いくつもの恋愛経験を経てきたプレイボーイであったが、アリスには、これまでの女性にはない魅力を感じたのだ。ジェロームとは異なる太陽のようにのびのびした性格のシャルルに、アリスの方も何か惹かれるものを感じた。やがて、ジェロームが行動をおこす日かやってくる。ユダヤ人一家をシャルルの家に連れてきたのだ。はじめはジェロームの考えに賛同できなかったシャルルだったが、今は受け入れる考えに変わっていた。アリスに失望されなかったからだ。彼はアリスに夢中になっていた。一方、自分の地下組織が発覚したことを知ったジェロームは、安全を求めてさらに一家を遠くへ連れていかねければならなかった。地下組織に関する文書類の奪還任務のため、アリスにバリ行きを頼むジェローム。そしてアリスに同行すると言いつくシャルル。ドイツ占領下のパリで、アリスとシャルルは行動を共にした。そして、二人は激しい恋に陥ってゆくのだ……。

初夏公開。今「大人の純愛」

■特別鑑賞券¥1200発売中
(当日 ¥1600均一の特)

シネマスクエア
新宿ミラ座横3F とうきゅう (232) 9274

全自由席定員制・入替制
満席および上映中の入場はできません。
連日 11:30 2:00 4:30 7:00
●毎金・土曜の夜はレイトショーPM9:25より。